

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和5年3月9日)

[件 名]

- 特別国民体育大会冬季大会における鳥取県選手団のスキー競技結果について
【スポーツ課】・・・ 2ページ
- スポーツ戦略会議の開催結果について
【スポーツ課】・・・ 3ページ
- 米子駅周辺地域を中心としたまちの賑わいづくりに関する協定締結について
【中山間地域政策課・西部県民福祉局】・・・ 4ページ
- J A生活店舗廃止方針に対する県の対応状況について
【中山間地域政策課】・・・ 5ページ
- みんなで地方創生事業の執行状況について
【東部地域振興事務所・中部総合事務所・西部総合事務所】・・・ 7ページ

地域づくり推進部

特別国民体育大会冬季大会における鳥取県選手団の スキー競技結果について

令和5年3月9日
スポーツ課

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会（岩手県八幡平市）の本県選手団の結果について報告します。

1 スキー競技の結果

(1) 会 期 令和5年2月17日（金）から20日（月）まで（4日間）

(2) 会 場 ジャイアントスラローム：安比高原スキー場（八幡平市安比高原）
クロスカントリー：田山クロスカントリーコース（八幡平市馬場下夕）

(3) 派遣者数 38名（本部役員9名、監督3名、トレーナー2名、選手24名）

	ジャイアントスラローム	クロスカントリー
成年男子A	1名	3名
成年男子B	1名	1名
成年男子C	2名	2名
成年女子A	—	1名
成年女子B	—	—
少年男子	6名	3名
少年女子	3名	1名
計	13名	11名



三好孝文選手

(4) 結 果

○入賞者 なし

○個人順位最上位者

三好^{みよし} 孝文^{たかふみ} 選手（陸上自衛隊米子駐屯地） クロスカントリー 成年男子C 14位

※前回大会7位入賞

2 総合成績（スケート・アイスホッケー・スキー競技）

（ ）内数字は昨年の成績

競 技	男女総合成績				女子総合成績			
	得 点			順位	得 点			順位
	参加 得点	競技 得点	合計 得点		参加 得点	競技 得点	合計 得点	
スケート	10(10)	6(0)	16(10)	24位(30位)	10(10)	6(0)	16(10)	19位(26位)
アイス ホッケー	10(10)	0(0)	10(10)	12位(11位)	—			
スキー	10(10)	0(2)	10(12)	22位(25位)	10(10)	0(0)	10(10)	17位(19位)
総合	30(30)	6(2)	36(32)	31位(33位)	20(20)	6(0)	26(20)	26位(30位)

スポーツ戦略会議の開催結果について

令和5年3月9日

スポーツ課

パリオリンピック・パラリンピックに向けて本県選手が躍動し、またセーリング日本代表ホープ3月境港合宿、クライミング複合ジャパンカップの4月倉吉開催が決まるなど動きを見せているところです。

また、新年度には2巡目国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の準備が本格化することから、今後の取組の方向性について総括的に議論するため、スポーツ戦略会議を下記のとおり開催しました。

記

- 1 日時 令和5年3月3日（金）午後2時30分から3時30分まで
- 2 場所 とりぎん文化会館第3会議室
- 3 出席者 知事、教育長、鳥取県スポーツ協会会長、鳥取県障がい者スポーツ協会会長、県内各競技団体の長（水泳、ホッケー、セーリング、バドミントン、スポーツクライミング）
- 4 内容 2024年パリオリンピック・パラリンピック、2巡目国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて（意見交換）

【取組の方向性】

■当面はパリオリ・パラに向けてラストスパートをかけ、結果が出るように踏み込んで支援するとともに、合宿・大会の誘致を進める。

○日本代表ホープ※合宿 ※「ホープ」とは、高い能力を秘めた13～23歳の次世代選手

・期間・場所：3月18日（土）～21日（火・祝）（予定）、境港公共マリーナ

・主催：日本セーリング連盟（JSAF）

・参加：15名程度（選手・スタッフ）

○スポーツクライミング「ボルダー&リード（コンバインド）」ジャパンカップ2023

・期間、場所：4月8日（土）～9日（日）、倉吉体育文化会館（倉吉スポーツクライミングセンター）

・主催：日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA）

・出場 枠：男女各30名程度（国内20名、海外10名ずつ）

■10年後の2巡目国スポ・全スポに向けて、成果を挙げているジュニアアスリート発掘の取組と地域における裾野拡大の取組を組み合わせるとともに、指導者の育成・確保や環境整備等についても、具体的なプロジェクトに向かっていく。

【主な意見】

（パリ大会に向けて）

・東京大会の経験で、鳥取県から世界で活躍できる選手を生み出せることを実感した。

（指導者確保）

・2巡目国スポに向けて強化は始まっている。有為な指導者が将来的に鳥取に戻って強化の中心を担えるようにすべき。

・指導者やジュニア選手が県外に流出。優秀な選手の確保には優秀な指導者が必要。

・指導者が手薄で高齢化も進んでいることから、特に若手指導者の確保が大事。

（ジュニアアスリートの発掘・育成）

・小学5年生で専門競技を決める際、複数競技の選択肢を持つことができるといい。若しくは他競技から気軽に来られるようになるといい。

・全体の人数を広げてはどうか。

・誰がどの競技に向くのか、指導者側が見極めて勧めていく方法もある。

（裾野の拡大）

・あと10年の間に中学校の部活動のあり方も変わる。地域のスポーツクラブが学校を活用するなど工夫が必要。

（学校教育）

・中学は地域クラブに移行となるが、教員も指導が可能となる。採用を増やしてほしい。

・小学校低学年は神経系の発達、視野の拡大、バランス感覚を磨くのに適した時期。ノウハウを学校現場で共有してほしい。

（環境整備）

・2巡目国スポに向けて、まずは競技環境整備が必要。

・県外から鳥取県に入学する生徒が安心してスポーツに取り組めるよう、寮の整備が必要。

米子駅周辺地域を中心としたまちの賑わいづくりに関する協定締結について

令和5年3月9日
中山間地域政策課
西部総合事務所県民福祉局

米子駅南北自由通路の今夏開通を契機に、米子駅周辺地域を中心としたまちの賑わいづくりを推進するため、鳥取県、米子市、西日本旅客鉄道株式会社、米子商工会議所の4者による連携協定を締結しました。

1. 協定締結について

(1) 調印式の開催概要

- ①日 時 令和5年2月17日(金) 10時30分～11時
- ②場 所 ANAクラウンプラザホテル米子
- ③出席者 西日本旅客鉄道株式会社理事兼山陰支社長 佐伯 祥一
米子商工会議所副会頭 森脇 孝
米子市長 伊木 隆司
鳥取県知事 平井 伸治



(2) 協定の概要

- ①協定名 米子駅周辺地域を中心としたまちの賑わいづくりに関する協定書
- ②協定者 鳥取県、米子市、西日本旅客鉄道株式会社、米子商工会議所
- ③目 的 相互の連携と協力により、米子駅南北自由通路の開通を契機に、南北が一体化した米子駅を中心としたまちの賑わいづくりに取り組み、もって周辺地域の活性化を推進する。

④主な規程

ア 連携事項

- i) 米子駅南北自由通路を活用した、米子駅北広場及び米子駅前だんだん広場、米子駅南広場など米子駅を中心とする周辺の一体的な賑わい形成に関する事
- ii) 米子駅を中心とした地域公共交通を活かした歩いて楽しいまちづくりに関する事
- iii) その他、米子駅を核とした地域や経済の活性化に関して必要な取組に関する事

イ 推進のための協議等

- ・連携事項を効果的に推進するため、定期的に米子駅周辺活性化連携会議(※)を開催することなどにより、実施状況にかかる検証及び見直しを行う。

ウ 有効期間

- ・令和5年2月17日から1年間(以後1年ごとの自動更新あり)

2. 今後の対応

- ・米子駅周辺地域の賑わい形成支援の一環として、米子市からの申出を踏まえて米子駅前だんだん広場を米子市に管理移管する(2月定例県議会に該当用地の無償貸付議案を提案中)。
- ・米子駅周辺活性化連携会議の場等を通じ、協定に位置つけた連携事項の具体化や実行など、県としても提案及び必要な支援を行っていく。

例：南北自由通路が開通する時期に合わせたイベントの集中実施など

【(※)「米子駅周辺活性化連携会議」の概要】

- ・米子駅周辺のまちづくりに重点的に取り組む体制として、令和元年度までの枠組みである「米子駅南北自由通路等整備事業協議会(三者協議会)」(JR西日本米子支社※当時、米子市、鳥取県)に米子商工会議所を加えた四者により、今年度から「米子駅周辺活性化連携会議」を設置。
- ・整備中心の議論から駅周辺の活性化や賑わいづくりを中心とした協議の場に改組された。
 - (構成員)米子市副市長、県西部総合事務所長、JR山陰支社副支社長、米子商議所専務理事
 - (協議結果)
 - R4. 6. 24 第一回会議(駅周辺の賑わい創出のため、「活性化」「整備」の2つの検討部会を設置し検討)
 - R4. 11. 18 第二回会議(がいなロード開通の機運醸成に向け関連イベントを開催、駅周辺の賑わいを創出しただんだん広場の利活用を図るため、米子市から申し出のあった管理移管を県は前向きに検討等)

J A生活店舗廃止方針に対する県の対応状況について

令和 5 年 3 月 9 日
中山間地域政策課

J A鳥取いなば及びJ A鳥取中央によるトスク及びAコープ等の店舗廃止の方針を受け、中山間地域等の買い物環境の維持に向けた県の対応状況を報告します。

1 J A生活店舗廃止方針の概要

J A(運営主体)	J A鳥取いなば(トスク(株))	J A鳥取中央(Aコープ西日本、直営)
理事会 (廃止方針の内部承認)	R 4. 12. 27 ・R 5年度中に全店舗閉鎖を目指すことを基本とする。	R 4. 11. 30 ・収益確保は見込めないことから店舗を廃止する。
廃止店舗	9店舗 本店、吉成店、フレッシュライフいわみ、ふなおか店、河原店、丹比店、若桜店、用瀬店、ちづ店	7店舗(※Aコープ西日本4、直営3) トピア店、せきがね店、下北条店、赤碕店、ポプラJ A山守店、ポプラJ A三徳店、竹田生活センター
従業員の状況	262名(うち正社員65名)	62名(うち正社員18名)
廃止後の雇用	・従業員はJ A鳥取いなばグループが受入予定、又は継承先企業に継続雇用を依頼する。	・正社員(18名)はJ A鳥取中央が受入予定 ・パート社員(Aコープ西日本の従業員)は希望により継承先企業で継続雇用
関係者説明状況	方針説明終了	方針説明終了
従業員	R 5. 2. 1～6	R 4. 12. 2～6
市町	R 5. 1. 27～2. 3	R 4. 12. 8～R 5. 1. 5
店舗エリア組合員	R 5. 2. 6～16(支店運営委員に対し説明)	R 4. 12. 2～6、12～14

2 県の対応状況

(1) 買い物機能確保に向けた対策チーム会議の立ち上げ(2月9日)

- ア 構成
- ・副知事、農林水産部、地域づくり推進部、商工労働部、福祉保健部
- イ 取組状況(2回開催※2月9日、15日)
- ・J Aからの情報収集(店舗廃止方針の詳細、今後の手続き等)
 - ・市町の意向把握
 - ・過去の廃止店舗活用事例の検証

(2) 相談窓口の開設(2月13日)

- ア 相談窓口開設時間
- 県立ハローワーク以外：午前9時から午後5時(土日祝日等閉庁日を除く)
- 県立ハローワーク：午前10時～午後6時15分(日曜、祝日を除く)

イ 相談窓口

相談分野	対象者	担当部局	相談窓口
買い物関係	個人	地域づくり推進部	中山間地域政策課
取引先等事業者関係	事業者	商工労働部	企業支援課
雇用関係	個人	商工労働部	県立鳥取・倉吉ハローワーク
介護用品関係	個人	福祉保健部	長寿社会課
上記分野以外の相談	個人、事業者	農林水産部	農林水産政策課

(3) 市町・J A・県による買い物環境確保に係る対策協議会の立ち上げ(2月21日)

- ア 構成
- ・鳥取いなば農業協同組合(J A鳥取いなば)
 - ・鳥取中央農業協同組合(J A鳥取中央)
 - ・関係市町(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、倉吉市、三朝町、琴浦町、北栄町)
 - ・県(知事、副知事、地域づくり推進部、農林水産部、商工労働部、福祉保健部)

イ 協議内容

- ・ J A鳥取いなば管内トスク及び J A鳥取中央管内 A コープ等の閉店に係る情報確認
- ・ 買い物機能確保に向けた対応に係る協議

3 その他

(1) 東部圏域 1 市 4 町首長による平井知事への買い物環境維持に関する要望

鳥取市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長及び八頭町長が来庁、平井知事へ買い物環境維持に係る要望を実施

ア 月日

2月20日(月)

イ 要望概要

- ・ トスク店舗の閉店方針に対し、県から J Aへ再考を促していただきたい。
- ・ 今後の中山間地域住民の買い物環境維持に向け支援いただきたい。

(2) 中部圏域 1 市 3 町首長による平井知事への買い物環境維持に関する要望

倉吉市長、三朝町長、琴浦町長及び北栄町長が来庁、平井知事へ買い物環境維持に係る要望を実施

ア 月日

3月3日(金)

イ 要望概要

買い物拠点やコミュニティの場を失い、住み慣れた地域に住み続けることが困難になる状況を危惧。店舗継続への支援を含めた代替事業を検討しており、引き続きの県の支援・協力をお願いしたい。

4 今後の対応方針

J A、市町と情報を共有し、店舗毎の対応策の検討に県も関与するとともに、県としての支援について検討を行う。

みんなで地方創生事業の執行状況について

令和5年3月9日
東部地域振興事務所
中部総合事務所
西部総合事務所

地方創生の実現に向けて、民間団体等が取り組む地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するため、地域の実情や特性に配慮しながら、時期を失することなく効果的に事業が実施できるよう、東部地域振興事務所、中部総合事務所及び西部総合事務所において実施している「みんなで地方創生事業」の執行状況を報告します。

1 東部地域振興事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行 (見込) 額	成果等
コロナを笑いでふっとばせ「池田寄席」からはじめる池田地区の地方創生！事業	<p>過疎化、高齢化による地域の担い手不足に加え、コロナ禍の2年間で地区の行事が縮小され、交流の機会が減った若桜町池田地区において、有志団体「池田を盛りあげる会」が地区の賑わいと住民同士の絆を取り戻すため地区に縁のある桂まん我氏を迎え「池田寄席」を開催した。</p> <p>県は、若桜町と連携し池田寄席の実現に向けて伴走支援するとともに経費支援を行った。</p> <p><池田寄席の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和4年12月4日（日） 参加者：池田地区住民等 約60名 場 所：若桜町公民館池田分館 寄席と関連行事： <ul style="list-style-type: none"> ○桂まん我 独演会 (若桜町ふるさと観光大使) ○福祉車両（UDタクシー）を活用した共助交通の模擬体験 ○マイナンバーカード出張受付 <p><振り返りの会></p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和5年1月26日（木） 主な意見（アンケート内容より） <ul style="list-style-type: none"> ○寄席に参加して楽しかった。 ○人が集まれるイベントの継続を期待。 ○福祉タクシーを利用し便利だった。 	<p>池田を盛りあげる会</p> <p>※池田地区に在住の有志4名により10月に結成。池田地区の活性化のための取組を目的とする住民団体</p>	501,260	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の池田寄席開催を通じ地区活性化への輪が広がり地域課題解決に向けた取組への足掛かりとなった。また、東部中山間地域等サポートチームは継続して地区及び町を伴走支援する。 ・今回の行事は、参加者から高い評価を受け、次年度以降も定例開催する方向となり、将来的には地区外からも集客できる名物行事を目指す。 ・地区住民は、町と連携し地区振興協議会や共助交通の立上げを検討することとしている。
#いわみの車窓からハッシュタグキャンペーン事業	<p>JR西日本の赤字ローカル線がクローズアップされる中、JR山陰線（鳥取 - 浜坂）間の利用促進を図るため、岩美町と連携して地域住民への働きかけを行った。</p> <p><#いわみの車窓からハッシュタグキャンペーンの概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 実施時期：令和5年1月から2月 対象者：JR山陰線利用者 内 容：岩美町内区間の車窓写真を撮影しインスタグラムに「#いわみの車窓から」のハッシュタグをつけて投稿。抽選により景品を贈呈。 <p><新聞での広報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内及び但馬圏域からの誘客を図るた 	岩美町	1,320,765	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーンや岩美駅内展示等により、岩美町民を始め東部圏域の住民に対しJR山陰線利用促進の取組等をPRし、地域住民への意識づけにつながった。 ・岩美町を中心に兵庫県側とも連携して今後の利用促進対策を検討する。

	め、新聞広告を掲載（2月10日付掲載） ＜沿線の魅力発信のため岩美駅での展示＞ ・山陰海岸ジオパーク等JR山陰線沿線の魅力発信について岩美町観光協会と連携して岩美駅においてパネル展示を実施した（3月8日～31日）。			
合計			1,822,025	

2 中部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
第10回中部発！食のみやこフェスティバル	<p>中部圏域の農産物と観光地をPRする初夏の風物詩として定着している本イベントは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3年ぶりに開催した。</p> <p>第10回の記念事業に要する経費について、県も応分の負担をした。</p> <p>〈記念事業の内容〉</p> <p>① Web アンケートフォーム構築 ② アンケート景品（農産物） ③ 粗品（エコバック）の提供</p> <p>・開催日 6月25日（土）、26日（日）</p> <p>・会場 大御堂廃寺跡（倉吉市駄経寺町）</p> <p>・イベント内容 農林水産物・加工品の販売、ワークショップ、ステージイベント</p>	<p>中部発！食のみやこフェスティバル実行委員会</p> <p>構成団体： 鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、中部ふるさと広域連合、鳥取中央農協、各市町商工会、大山乳業、赤碕漁協、中部森林組合、鳥取中部観光推進機構</p>	130,000	<p>・目標を大きく上回る17,000人が来場し、地元農畜水産物を存分にPRすることができた。</p> <p>・感染防止策の徹底とテイクアウト形式の展開により、来場者に楽しんでもらうことができた。</p> <p>・美術館整備局による染色体験、建設現場見学ツアーも好評であった。</p> <p>・スマホによるWebアンケートにより、会場内での混雑回避、集計作業の迅速化・省力化を実現。来年度の開催に向けて貴重な情報収集ができた。（アンケート結果）</p> <p>○来場者 内容がよかった69% ふつう29%</p> <p>○出展者 来年も出展したい97%</p>
グランfond 倉吉	<p>県西部を中心にされてきたサイクルツーリズムであるが、県中部では民間の推進団体や開催イベント等がなく、推進体制や方法に課題が出ていた。</p> <p>そのため、観光団体や地域団体、地元サイクリスト等に県が実施するサイクリング事業への参画を促し、民間主導での推進を模索してきたところ、地元サイクリスト達による中部広域のロングライドイベントの開催構想につながり、それが県のサイクリング推進に寄与することから、その開催費用の一部を支援した。</p> <p>・開催日 10月23日（日）</p> <p>・場 所 倉吉未来中心（スタート・ゴール）～ 中部全域、県東部・蒜山エリアの一部</p> <p>・大会コース ロングコース164km、ミドルコース82km、ショートコース5.5km</p>	中部ツーリズム協議会	1,000,000	<p>・全体で224名が参加。ロング・ミドルコース参加者201名の内、県外者が4割近くあり、宿泊観光・商業振興にもつながった。</p> <p>・ショートコースを各市町首長等が記念走行し、福高祭へ立寄る等、中部管内へのサイクルツーリズム機運醸成のためのPRができた。</p> <p>・参加者からの満足感が高く、スムーズに走れる環境等の評価も高く、サイクリング適地であることを実感できた。</p> <p>・大会開催の成功により、継続開催の意欲を強めており、管内の民間サイクルツーリズムの継続活動として期待できる。</p>
計			1,130,000	

3 西部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
YONAGO サイクルカーニバル inYODOE	<p>民間主体の歴史あるサイクリングイベントが3年ぶりの開催を迎えるなか、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた実証実験及び大会国際化に向けた運営の効率化のための取組等を支援した。</p> <p><実証実験の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを活用した非接触チェックシステムの試験導入（受付、スタート地点、チェックポイント、ゴール地点） ・大会ホームページ及び非接触チェックシステム利用者向け説明リーフレットの英語版作成。 <p><将来的な方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,000人規模の国際大会化 ・県の「サイクリストの聖地化」の取組との連携（ナショナルサイクルルート指定、観光周遊ルート造成など） <p><YONAGO サイクルカーニバル inYODOE 開催概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 令和4年9月4日(土) ・会場 淀江ゆめ温泉 白鳳の里 ・コース 大山山麓指定コース(62km) ・参加者数 235人(招待者5人含) 	<p>米子日吉津商工会（サイクルカーニバル in YODOE 実行委員会事務局）</p> <p><参考> サイクルカーニバル in YODOE 実行委員会：米子日吉津商工会、米子市淀江支所、米子市淀江公民館、米子市淀江町自治連合会、鳥取県漁業協同組合 淀江支所、JA鳥取西部淀江町支所、住民組織等</p>	500,000	<ul style="list-style-type: none"> ・非接触チェックシステムの試験導入は、コロナ対策や少人数スタッフ運営など、安全・安心で効率的な大会運営につながることを確認できたことに加え、来年度以降の国際大会化への道筋をつけることができました。 ・県内外から、招聘国内在住外国人5人を含む235人が大山山麓や名所を巡るサイクリングを満喫し、「コロナ禍でも開催してくれてありがとう」、「とても楽しかった」、「エイド給食がおいしかった」等といった声が寄せられるなど、非常に好評であった。 ・全体の約4割が県外参加者であり、皆生温泉や米子駅前などでの宿泊を伴うなど、地域経済の活性化につながった。
JR 伯備線(根雨駅・黒坂駅) 開業 100 周年事業	<p>根雨駅と黒坂駅の開業100周年を契機とした伯備線の利用促進や地域の活性化につながる地元主体の取組を支援した。</p> <p><支援した取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の鉄道ファンや地元が繋がる「日野軍★伯備線ファン倶楽部」の立ち上げ、交流の場「立ち寄りサロン（リバーサイドひの内）」の開設 ・伯備線沿いのウォーキングコースの設定、マップ作成 ・専用サイトによる情報発信、案内看板の設置 <p><伯備線ファン倶楽部></p> <p>[発会式]</p> <p>開催日: 令和4年11月10日(木)</p> <p>会場: リバーサイドひの内(日野町下榎)</p> <p>参列者: 日野町長、JR関係者、日野振興センター所長等13人</p> <p><参考></p> <p>[日野町主催事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根雨駅・黒坂駅開業100周年記念式典(令和4年10月16日(土) 日野町文化センター) ・黒坂駅開業100周年記念式典(令和4年11月12日(土) 黒坂駅前) ・その他、各駅記念イベント開催 	<p>JR 伯備線(根雨駅・黒坂駅) 開業 100 周年事業実行委員会</p> <p>(奥日野ガイド倶楽部、日野軍★みらい創生デザイン会議、地域団体等)</p>	500,000	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の取組が複数の新聞で取り上げられたこともあり、立ち寄りサロンには11月の開設以降、全国から鉄道ファンが訪れ、ファン倶楽部には1月時点で60人以上が会員となっている。JRによると、こうした取組は全国的にも希ということで、鉄道ファンの間でも反響を呼んでいる。 ・増加する鉄道ファンのマナー対策についても、撮影スポットに設置する看板による啓発と共に、JRによる危険区域への侵入予防対策等、関係先と連携してマナーアップに向けた活動を行っている。 ・ウォーキングコースについては、日野町側は

				<p>11月に開催された「縁（沿）線ウォーキング」（ノルディックウォーク鳥取県西部主催、参加者約70人）で活用され、イベント参加者から好評価を得た。現在は来年度100周年を迎える日南町の生山駅から上石見駅間のコースマップを作成中で、開催が計画されている同様のイベントで活用される予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、100周年事業を契機に地元業者とJRとがタイアップしたオリジナルパッケージ商品（米、ポトフ等）の開発企画にも繋がっている（米子、松江駅等で販売予定）。
計			1,000,000	